



教訓
滑入

心めあへん

VR

9
1028
4



9
1028
4



比賣禮卷之四

述言第廿二 けまの申とのまゝにうすゑなり

儀禮乃傳よま妻を一律たり又夫妻ハ律合ありとのりま
妻れらざりハ律ありとのり合せし一律とすとのりなま
なり礼記の文よてびいもてしすまてあつるもてに
あつたれびのりうよま妻とてま嫁せびとていあかり
よまとてあつて合すとのりあま嫁ありとのり合すのり
懸とあつるもてあつるもてあつるもてあつるもてあつるもて
てあつてま婦しけいとのりあつるもてあつるもてあつるもて
あつるもてあつるもてあつるもてあつるもてあつるもてあつるもて

臣比賣

といふ事なきにきく事なればこそ
 礼記のいふ如く婦人たるは
 夫の事なりとて其の言動を
 慎みて居るべしと云ふ事
 女の本分なりとて其の言動を
 慎みて居るべしと云ふ事
 女の本分なりとて其の言動を
 慎みて居るべしと云ふ事
 女の本分なりとて其の言動を
 慎みて居るべしと云ふ事

ちりごとく鷹のいじとて下種の事なればこそ
 いふ事なきにきく事なればこそ
 礼記のいふ如く婦人たるは
 夫の事なりとて其の言動を
 慎みて居るべしと云ふ事
 女の本分なりとて其の言動を
 慎みて居るべしと云ふ事
 女の本分なりとて其の言動を
 慎みて居るべしと云ふ事
 女の本分なりとて其の言動を
 慎みて居るべしと云ふ事



一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

比賣傳卷中記

